

菊池養生園の理念・基本方針について

菊池養生園 園長 入佐孝三

菊池養生園は昭和50年に開園して30年余が経過しました。前園長竹熊宜孝名誉園長が掲げられた「いのち」を守るという精神を基礎とし、さらに新しい取り組みも発展させながら、次の時代を作り出すために菊池養生園の理念、基本方針を制定しました。

<養生園設立の原点に立ち返って>

いのちある食によって、いのちは生まれ、成長する。いのちある食は、いのちある土から生まれる。医・食・農の連携に基づいた健康の増進、予防は養生園の原点です。人には誰にも寿命があります。天命を終えるまで、いかに健やかに生活していくか。「いかに生き、いかに死ぬか」は、人間に与えられた永遠のテーマですが、健康の面だけでなく、こころの面からも、養生園はお役にたちたいと願っています。



<多くの皆さんに利用していただくために>

医学の分野も日進月歩です。特に診断の技術は、目を見張るものがあります。総合病院並の設備はできませんが、健診機関として、必要であれば、採算も度外視して、新しい診断機器を導入し、受診者の期待に応えなければなりません。また、機器の整備だけでなく、それを駆使して的確な診断へと導く人材の育成にも、十分な時間と費用を費やします。

また、公的な診療健診機関として、養生園議会や管理者との協議と意思疎通を十分に行い、菊池市・合志市の担当部課との連携をスムーズに行いながら、地域の皆さんの医療・保健のみならず福祉の分野まで貢献できる機関でありたいと願っています。

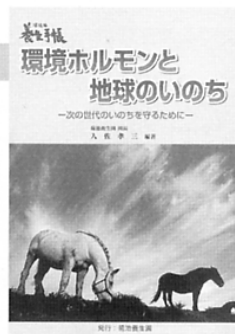
<外来・健診の質を高めるために>

養生園の活動は、健診、健康教育のみならず、外来診療も大きな柱のひとつです。地域の皆様にも、是非活用していただきたいと希望しております。特に漢方を中心とした東洋医学的治療を積極的にとりいれています。高齢化社会を迎え、ますますその適用範囲は広がっていくと考えます。西洋医学的な診断治療も併用しながら、皆様の健やかで質の高い生活の手助けをできるように考えております。

早期に発見された生活習慣病が、発症進行する前に、自己努力によって、改善されることが健診の大きな目的です。養生園では、糖尿病教室で大きな成果をあげつつあります。リフレッシュ断食・少食ドッグも始めました。今後も、予防のための先進的な試みに積極的に取り組みます。

<地球環境にも目を向けながら>

人間のいのちを守るために、地球の環境が守られなければなりません。化学物質汚染や、食品添加物、農薬の問題など、いろいろな情報発信がなされ、有機農業や地産地消の運動、無添加食品の普及なども全国規模で進んでいます。その先駆けとなったのが、菊池養生園であったことは多くの人が認めているところです。目に見えない多くの化学物質は、次の世代のいのちも脅かそうとしています。次の世代のいのちを守るために、環境ホルモン等の問題提起も行ってきました。今後も様々な機会を捉えて、積極的に発言をしていきます。



<経営の健全性維持と職員の資質向上のために>

いのちはお金に換えられないものですが、公的な医療機関においても親方日の丸ではすまない時代です。職員一人一人が、コスト意識を持ち、今後も経営の健全性を維持していく努力を続けます。それに加えて職員は、全体の目標に向かって、絶えず自己研鑽に努めて地域に奉仕し、同時に人間としての質の向上に努めます。